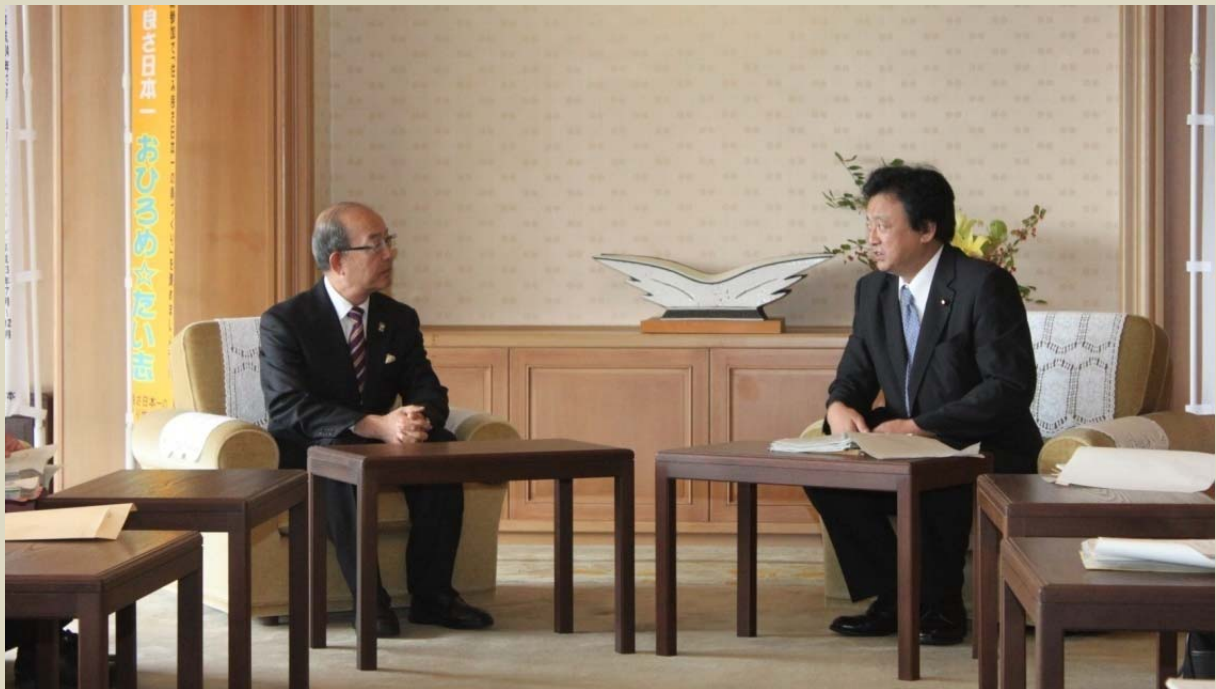


渡辺副大臣が 愛宕山用地の取得問題で 山口県知事・岩国市長と会談



二井山口県知事(左)と会談、国の対応を説明する渡辺副大臣(右)

渡辺防衛副大臣は10月17日、山口県庁と岩国市役所をそれぞれ訪れ、二井知事及び福田市長らと会談し、岩国飛行場滑走路移設事業で土砂を採取した愛宕山用地の買取価格（168億9千万円）を提示するとともに、昨年11月、岩国市長から提出された要望に対する回答を説明しました。



愛宕山用地周辺の状況

■ ■ 愛宕山用地の買取価格等を地元の説明 ■ ■



岩国市長らに国の対応を説明

渡辺副大臣は、岩国市長からの4項目の要望のうち、愛宕山用地における運動施設等の整備については、「米側とも調整の上で、基本的に市長の要望を満たす内容で行うこととしたところであり、岩国市民にとって良いものが出来たと思っただけのように、引き続き、最大限の努力をしてまいりたい」と説明。

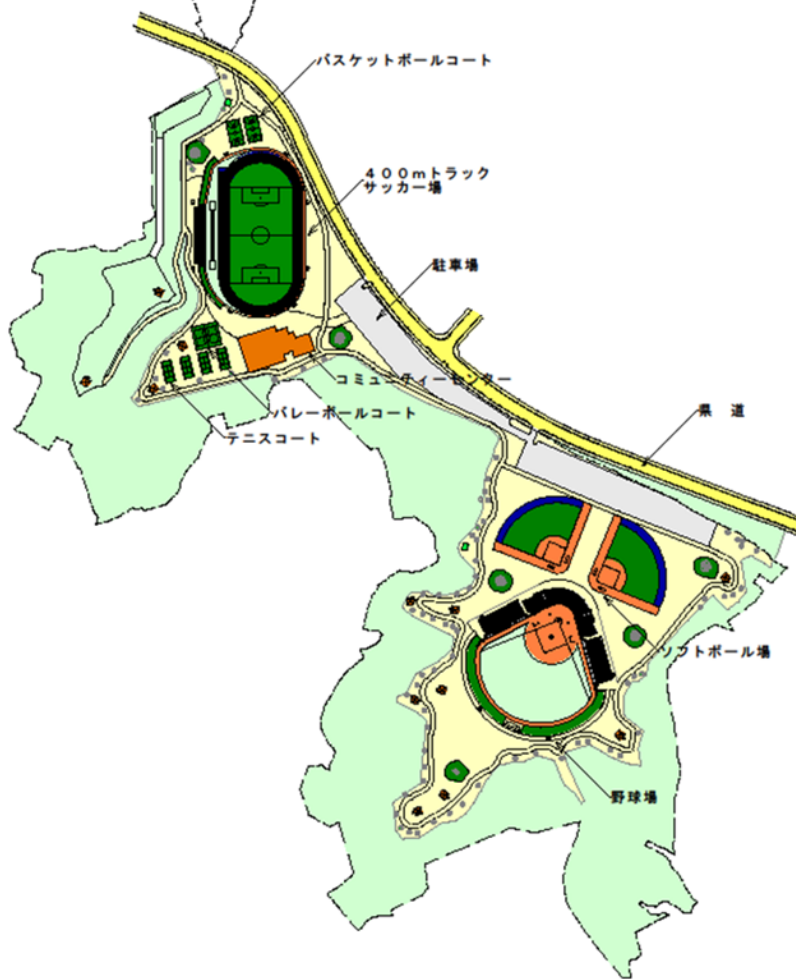
在日米軍再編に係る安心・安全対策のうち、航空機の運用時間の短縮については、「米軍再編の枠組みにおいて、岩国飛行場における航空機の運用に関する協議を開始したところであり、

引き続き、協議を進めていく」また、告示後住宅の住宅防音工事については、「11月上旬から住民説明会を開催することとしており、引き続き、岩国市の協力を得ながら実施してまいりたい」と述べました。

在日米軍再編に係る地域振興策については、「防衛省として対応出来るものは、積極的に対応してまいりたい。このうち、今年度の地域振興策については、速やかに各種調整を整え、出来る限り早期に実施してまいりたい」と回答。

海上自衛隊航空部隊の岩国残留については、「地元からの強い要望を重く受け止め、前向きに検討してまいりたい」と説明しました。

愛宕山用地運動施設エリア施設概要図



運動施設等の主なスペック概要

1.野球場

| | |
|-------|--|
| 規模 | 両翼:100m、センター:122m |
| グラウンド | 外野:天然芝、内野:土 |
| 観客席 | 内野:5,000人(椅子) 外野:開放芝生エリア(約3,000人規模) |
| 照明 | 内野:1,500ルクス、外野:800ルクス |

2.400mトラック(サッカー場を含む)

| | |
|---------|--|
| トラック | 400mトラック:8レーン(樹脂舗装) 直線100m:8レーン(樹脂舗装) |
| インフィールド | サッカー場(人工芝) |
| 観客席 | メインスタンド:800人(椅子) 芝生スタンド |
| 照明 | 有 |

3.コミュニティセンター

| | |
|--------|---------------------------|
| 文化交流施設 | 和室、調理室、多目的室等 |
| アリーナ | バスケットボール及びバレーボール兼用のコート×2面 |

4.その他

| | |
|---------|---|
| ソフトボール場 | 人工芝×2面 |
| 屋外運動施設 | バスケットボールコート×2面 バレーボールコート×2面 テニスコート×4面 |

岩国市議会全員協議会



市議会全員協議会の様子



議員の質問に答える辰己局長



遠藤参事官

11月8日、愛宕山用地に関する今後の岩国市の対応方針について岩国市議会全員協議会が開催され、防衛省からも辰己局長や遠藤大臣官房参事官らがオブザーバーとして出席しました。

市議会全員協議会は、渡辺防衛副大臣が岩国市役所を訪れ、福田岩国市長らに対し、愛宕山用地の買取価格（168億9千万円）を提示するとともに、福田市長からの4項目の要望に対する回答について説明したことを受け、愛宕山用地に関する今後の対応方針について福田市長が市議会に説明するために開催されました。

市議会全員協議会において、福田市長は、渡辺副大臣の回答内容を説明するとともに、愛宕山用地については国へ売却する方向で山口県と協議を始めたいとの方針を説明し、続いて質疑応答が行われ、17名の市議会議員から多義にわたる内容の質問や意見が出されました。

住民説明会



住民説明会で説明する福田岩国市長



住民の質問に答える辰己局長

岩国市は、11月12、13日の両日、市内5か所において住民説明会を開催し、今後の対応方針を説明しました。延べ約730人の住民が参加し、オブザーバーとして出席した辰己局長らも住民からの質問に一つ一つ丁寧に対応しました。

市議会全員協議会や住民説明会を終え、11月24日に福田市長と二井山口県知事が協議した結果、愛宕山用地を国に売却する方向で諸調整を進めることになりました。

■■ 防衛白書説明 ■■

中国四国防衛局は、中国四国地方9県の地方協力本部及び部隊と連携し、8月下旬から12月上旬の間、管内の220の自治体などの代表らに防衛白書の内容について説明を行いました。



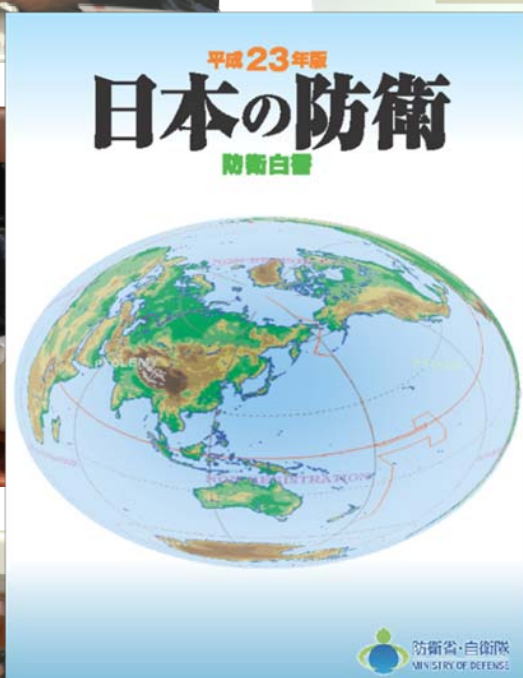
島根県
溝口知事



鳥取県
平井知事



広島県
湯崎知事



岡山県
石井知事



愛媛県
中村知事



高知県
尾崎知事



香川県
浜田知事

防衛白書はわが国の防衛政策に対する内外の理解を得るために毎年刊行しており、今年で37冊目になります。

平成23年版防衛白書は、東日本大震災への対応、新たな防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画の策定、日米外務・防衛当局間による「2+2」会合など、国内外で大きな節目となる事象が多く見られました。このため、国民の皆様が我が国の防衛を考える際の資料となるよう、多くの図表・写真・コラムを活用するなどして、防衛省・自衛隊の「ありのままの姿」をお伝えできるよう作成しています。

防衛白書は防衛省ホームページからご覧になれます。 <http://www.mod.go.jp/>

■ ■ 米軍岩国基地のオリエンテーションで講演 ■ ■

11月17日、米海兵隊岩国航空基地主催のオリエンテーションが基地内のサクラホールで開催され、辰己中国四国防衛局長は基地隊員約800人を前に、部隊としての活動や個人の行動がいかに日米同盟にとって大切かについて、英語によるブリーフィングを行いました。その中で、隊員一人一人が事件・事故の防止に務め岩国市民の良き隣人となることが、基地を安定使用する上で非常に重要であることを説明しました。ブリーフィングは今年で4回目となりました。



サクラホールで講演をする辰己局長

当日は福田岩国市長も、事件事故防止に努め、隊員と岩国市民が友好的な関係を維持し基地の安定的使用が図られることを期待する旨の説明を行いました。



福田岩国市長



スチュワート司令官

スチュワート司令官も「我々は地元住民の良き隣人になる必要がある。そのためには何をしなければならないか」など隊員たちに注意喚起を行いました。

■ ■ 告示後住宅防音工事の住民説明会開催 ■ ■

中国四国防衛局では、岩国飛行場周辺における住宅防音工事の新たな施策として、騒音の著しい80W以上の区域に所在する告示後の住宅を対象とした住宅防音工事を助成することとしており、この施策に係る概要などについて周知するために、岩国市、関係自治会の協力を得て、11月5日から6日間に亘り岩国市川下地区を始め対象となる4つの地区で説明会を開催しました。

なお、本件施策について詳しくは、当局ホームページに掲載しています。

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>



辰己局長も参加して行われた住民説明会

| 説明会開催状況 | |
|---------|-------|
| 川下地区 | 11. 5 |
| | 11. 7 |
| 東地区 | 11. 5 |
| | 11. 8 |
| 愛宕地区 | 11. 6 |
| | 11. 9 |
| 今津山手地区 | 11. 6 |
| | 11.10 |

■ ■ 感謝状贈呈 ■ ■

大臣感謝状

松茂町長 広瀬 憲発



一川防衛大臣と記念撮影



松茂町長 広瀬憲発氏(左)と
渡辺防衛副大臣

10月15日(グランドヒル市ヶ谷：東京)

永年に亘り、当省の防衛政策に積極的に協力されるとともに防衛施設の安定的使用に貢献された。なかでも第14旅団新編に伴う海上自衛隊徳島航空基地への陸上自衛隊第14飛行隊の配備に際し、地元説明等尽力された功績は大であり、防衛大臣から感謝状が贈呈されました。

局長感謝状

呉市長 小村 和年



11月2日(呉市役所)

大型艦船の配備や防衛施設整備に伴う機能強化を懸念する議員や周辺住民の理解を得るために尽力された功績により、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。

阿南市長 岩浅 嘉仁



11月7日(阿南市役所)

徳島駐屯地(仮称)の開設に当たり、市議会及び地元住民への説明及び説得並びに難航した土地所有者の同意の取り付けに協力頂き、同駐屯地開設に尽力された功績により、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。

■ ■ 優良業者局長感謝状贈呈 ■ ■



株式会社ガンシン(右)



乗客ターミナル



11月4日、岩国飛行場内の乗客ターミナルの整備にあたり、設計変更や予期せぬ埋設物が多数発見されたことによる度重なる工事中断にもかかわらず、徹底した安全管理の下、困難な工程管理に並々ならぬ努力を注ぎ、予定されていた運用時期に間に合うよう、強い責任感と効率的な施工をもって施設完成に尽力された、株式会社ガンシン（代表取締役 木下貴史氏）に対して、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。

■ ■ 特定建設工事共同企業体（特定JV） 制度説明会開催 ■ ■

中国四国防衛局は11月18日、岩国商工会議所ホールで開催された「特定建設工事共同企業体（特定JV）制度説明会」（主催：岩国商工会議所）に、辰己局長らが出席し、多くの地元建設業者の方々に対し、建設工事に新たに導入する制度について説明を行いました。

当局では、平成21年度より「地域精通度」や「地域貢献度」などに着目した地域評価型総合評価方式を、岩国市を対象地域として当面の間、導入しているところですが、今般、地域に密着した優良な技術を有する企業を特定建設工事共同企業体（特定JV）の構成員として活用する制度を、12月以降から手続きを開始する工事について適用を開始します。

対象は、隊舎や宿舎など高度な技術を必要としない施設で、工事額が概ね5億円以上～基準額未満のものです。

この説明会には、約30以上もの地元業者が参加し、積極的な質疑応答が交わされました。また、福田岩国市長も出席し「新たな制度は国への要望の成果であり、地元業者の受注がより一層増えることを期待する」旨述べられ、期待度の大きさが伺われました。



説明会の様子

■ ■ 在日米軍従業員永年勤続表彰 ■ ■

米海兵隊岩国航空基地及び米陸軍秋月弾薬廠に勤務し勤続40年、30年、20年及び10年を迎えた124名の従業員に対し、主催者の中国四国防衛局長及び各基地司令官から、防衛大臣及び各軍司令官の連名の表彰状及び記念品を授与する永年勤続者表彰式が行われました。

米陸軍秋月弾薬廠



表彰するフーパー司令官(左)と
矢島総務部長(中央)



一人一人と記念撮影



日米関係者・来賓との記念撮影

10月13日(ビューポートくれホテル:呉市)

秋月弾薬廠の表彰式は、主催者として国側から矢島総務部長、米側からフーパー司令官が、また、来賓として呉市の石田企画部長、江田島市の正井副市長、東広島市の前延総務部次長及び武田広島地区執行委員長が出席され行われました。

米海兵隊岩国航空基地



主催者として挨拶する
辰己局長



表彰するカー一副司令官(左)と
辰己局長



日米関係者・来賓との記念撮影

10月18日(クラブ岩国:基地内)

岩国基地の表彰式は、主催者として国側から辰己局長、米側からカー一副司令官が、また、来賓として岩国市の白木副市長、細見市議会議長及び藤岡山口地区執行委員長が出席され行われました。

辰己局長からは「航空戦力を運用するということは、高い技術力と集中力が求められ、今後、それぞれの職責において豊富な知識と経験を活かし一層活躍されることを期待します」との挨拶がありました。

■ ■ 岩国錦帯橋空港ターミナルビル工事着手 ■ ■



安全祈願祭



ターミナルビル完成予想図 (資料提供:岩国空港ビル株)

11月25日、平成24年度内の民間空港再開を目指し、国、県、市や工事関係者らが出席して岩国錦帯橋空港ターミナルビルの安全祈願祭が行われました。

ターミナルビルは、1スポット・平屋をベースとしたコンパクト、シンプルな作りとなっています。(延床面積3,640㎡ 鉄骨造2階建1棟 鉄骨造平屋建1棟)

岩国錦帯橋空港は、米軍岩国基地の滑走路を使用する軍民共用空港。国内99番目の空港として、岩国・東京間の1日4往復の就航が予定されています。

■ ■ 米軍岩国基地で日米文化交流 ■ ■



短編ミュージカルを披露



新南陽高校吹奏楽部と合同演奏



日本舞踊の披露

11月23日、山口県の周南国際交流児童クラブと周南少年少女合唱団、新南陽高校吹奏楽部の生徒たちが米軍岩国基地内にあるペリースクールを訪れ、園児や生徒、保護者

ら約500人に日本舞踊や短編ミュージカル、吹奏楽の演奏などを披露する文化交流が行われました。今年4月に続いて2回目となりました。(新南陽高校吹奏楽部は初)

ペリースクールのシェラ校長は「ここにいる子どもたちは将来の日米のリーダーになります。日米の子どもたちが交流することは大変重要で、今後も日米交流を深めていきたい」と話していました。

■ ■ 自衛隊記念行事 ■ ■

この秋、各自衛隊の部隊は、国民の自衛隊に対する理解と信頼を深めるため、多くの方々にパレードや訓練展示などたくさんの行事を見ていただきました。

三軒屋駐屯地（9月25日）



見島分屯基地（10月2日）



出雲駐屯地（10月2日）



徳島航空基地（10月8日）



日本原駐屯地（10月22日）



米子駐屯地 (10月22日)



小月航空基地 (10月23日)



山口駐屯地 (10月23日)



海田市駐屯地 (10月30日)



善通寺駐屯地 (11月6日)



美保基地 (11月27日)



大学で防衛講義を実施

テーマは

「海上自衛隊の航空部隊におけるリスクマネージメント」

11月18日、広島経済大学（広島市）の川村健一教授教室において、中国四国防衛局の飯塚防衛補佐官（1等海佐）が「海上自衛隊の航空部隊におけるリスクマネージメント」と題して、約30名の学生に講義を行いました。



講義する飯塚1等海佐



講義の様子



講義では、海上自衛隊のヘリコプターパイロットである防衛補佐官が、航空部隊で実際に事故防止に活用されているリスクマネージメントの手法として、直感的に危険と感ずることも、数値として定量的に表わすことは、航空事故を未然に防止するためには必要不可欠であることなどを説明しました。学生たちは1時間30分の講義を熱心に聴講していました。

防衛問題セミナー開催のお知らせ

中国四国防衛局は、「**自衛隊の国際協力開始20年にあたって**」をテーマに、平成24年1月12日（木）、さん太ホール（山陽新聞本社ビル：岡山市北区柳町）において、防衛問題セミナーの開催を予定しています。

皆様のご来場をお待ちしています。
詳しくは、当局のホームページをご覧ください。

<http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

問い合わせ先：

中国四国防衛局 企画部地方調整課
TEL 082-223-7153

防衛問題セミナー

「自衛隊の国際協力開始20年にあたって」

日時：平成24年1月12日（木）
18：00～20：00（開場17：00）
場所：さん太ホール（山陽新聞本社ビル）

【第1部】
中国四国防衛局の国際協力開始20年にあたって 防衛省国際企画情報通信・研究課長 中野 裕文
イラク・アフガニスタンでの自衛隊の活動 自衛隊高知地方協力本部長 杉本 憲章

【第2部】
イラク・アフガニスタンでの自衛隊の活動 防衛省国際企画情報通信・研究課長 中野 裕文
自衛隊高知地方協力本部長 杉本 憲章
海上自衛隊航空隊補佐官 飯塚 健一（中国四国防衛局）

参加方法 参加無料
先着順です。定員（300名）になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい。
事前申し込みは必要ありません。
駐車スペースが限られていますので、公共交通機関をご利用下さい。

アクセス さん太ホール
岡山市北区柳町2-1-1

主催：防衛省 中国四国防衛局
後援：岡山県

お問い合わせ先：
防衛省 中国四国防衛局 企画部地方調整課 TEL 082-223-7153
広島県広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎 4号館